

輪地切り・輪地焼き始まる

8月26日（日）の定例活動日、会員26名が参加して輪地切りを始めました。今年は昨年のA、B区に加えて、城島川左岸の県道沿いをC区として輪地を切ることになりましたので、長さは昨年より長くなりました。



順調に進む輪地切り

例年9月は秋雨前線の影響で、天候が安定せず作業が遅れがちになるところですが、今年は順調に進んで、会員の体力維持が心配されるほどでした。

傷害保険には加入しているとはいえ、年齢を考えると無理はできません。

最終目標の来春の本野焼きが終わるまで、事故の無いよう、細心の注意を払ってやっていきましょう。

第2回は9月2日に21名、第3回は9月8日に14名、第4回は9月15日に16名の参加で延べ77名が作業したことになります。

昨年輪地切りした部分は草も柔らかく、比較的楽な作業ですが、今年初めて輪地として設定したところは草が硬く、傾斜の急な斜面は足場が不安定で難行でした。

何年か続けると草も柔らかくなって切りやすくなるのではと思います。



急傾斜地の草刈り

白煙をあげて燃える刈り草

9月23日（日）は21名が集まり、朝から前回までに切った草を焼く予定でしたが、前日に雨が降り草が湿ってしまいましたので、午後から城島川右岸とA区とB区の境界の輪地を焼きました。

日差しも強くなり、新聞紙も多量に準備していたので、点火すると思いのほか早い速度で燃え広がり、一面、白煙に包まれました。今年、保全の会として新たに2本のガス式バーナーを揃えました。

